

Title: 「Carry that weight」



野尻 浩行
栃木市出身の24歳。
後悔のない旅にしたいです。
そして丈夫な体になって帰ってきたいです。

● 最近のエントリー

- ☑ 10カ国目、日本 (2010.09.21)
- ☑ プサン (2010.09.14)
- ☑ 彭山 (2010.09.04)

● アーカイブ

- ☑ 2011年01月
- ☑ 2010年09月
- ☑ 2010年07月
- ☑ 2010年06月
- ☑ 2010年05月
- ☑ 2010年04月
- ☑ 2010年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

「Carry that weight」 > 2010年09月 アーカイブ

10.09.21

10カ国目、日本

[Tweet](#)[Check](#)日本に帰国してから何日経ったのか、ずであや

ふやです。
カレンダーで確かめると、今日は21日。もう5日経ったのかあ。



釜山からの船が大阪に着く朝、背中の古傷を痛めて散々でしたが、いまは大分良くなりました。ご心配おかけしました。ごめんなさい。

滞りの新幹線でびびゅーんと新大阪～小山まで移動すること4時間くらい。終わりはあっという間です。

車窓から見える日本の景色は、半年間で訪れたどの場所ともどこか違った風景で、おもしろかった。

翌日から、父の代わりにPCやプリンターなど一式を調達することに。

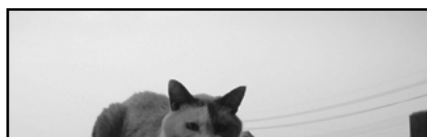
なんでも仕事で必要になったのだから、アナログな家庭で、これまでパソコンはなかった。コ○マやらヤ○ダやら下見したり、ネットで調べたり、、、帰ってきてまだ休めてないです。

あまりにも早く過ぎ去った6ヶ月でした。
昨日のことに覚えている大阪からの出発。
昨日のことに覚えている各国での出来事や風景などなど



ほんの数日間、日本を離れていた程度の不思議な感覚で満たされています。
実際は、実家のネコが寝てたり、父の頭が薄くなったり、兄に新彼女ができてたり、しっかり時は流れているわけで。

まるで浦島太郎ですね





10月から後期授業が始まります。
これまでと違って、変化に乏しい日常になり、退屈と思われる内容のブログにこれからはなるかもしれません。
ですが、FW期間で撮った写真や、書くべき文章はまだあるので、学校生活と併せて、終わった旅の報告をできればと思います。

取り留めのない報告ですが、今回はこれにて終了。

それでは。

カテゴリ：

post by 野尻 浩行 | 日時: 2010.09.21 | [パーマリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「Carry that weight」](#) > 2010年09月 アーカイブ

10.09.14

ブサン

[Tweet](#)

[Check](#) 今朝、真っ黒に汚れたハ
トを見ると、日本に近く

なったなと気付かされました。

ただいま韓国は釜山にいます。

半年前と同じ場所にやってきて、すこしは感慨も湧くかと思ったけど、不感症なのか、特になにも感じません。

各国あつという間の滞在が続いて、あつという間に半年が過ぎた。

いまは感慨に浸るよりも、いまできること、これからやるべきことを考えることでもいいです。

いまの自分の立ち位置と、目指すべき次元の差は、気付かざるを得ないことで。しかもそれは恐らくすべてを理解しているわけじゃないので。

なにはともあれ、半年間という、出発当初は途方もない長さに思われたこの旅ももうすぐ終わろうとしています。

日本に適應できるか、不安です。

カテゴリ：

post by 野尻 浩行 | 日時: 2010.09.14 | [パーマリンク](#) | [コメント \(23\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「Carry that weight」](#) > 2010年09月 アーカイブ

10.09.04

彭山

[Tweet](#)

[Check](#)





長らく更新が滞っていました。

残り少ないですが、できるかぎりこれまでの分を取り戻せるようにがんばります。

FW最後の撮影期間がはじまってから、もう10日ほどになるでしょうか。

ひとつ目の撮影地である、中国の彭山(Pengshan)という場所から帰ってきました。

現在は中国撮影期間にも泊まった成都のホテルにいます。

明日の午前中に、ハルビンに到着する予定ですが、少し休みが欲しいです。

さてさて、フリー期間では、中国にリベンジ!と、銘打って中国オンリーです。

北京、上海と都会ばかり回ってうまくいかなかったことを踏まえて、フリーの撮影では地方の小さな街を訪ねます。

とはいえ、あまりに情報が少ないため、毎度実際に行ってみないとどんな場所だかほとんど予測がつかないのが、マイナーな土地の怖くておもしろいところ。

2回目のスクーリングでの反省を生かした撮影ができるかどうか、一般にフリー期間の要なわけですが、実を言うとこれまでの撮影とどう変えるべきがよくわかってないんです。こんなことを言ってしまうと、真剣味が足りないんじゃないかと思われるかもしれませんが、そうなのかもしれません。

とにかく、目の前にある現実をよく見ることに。

写真を撮る上では恐らく当たり前のことなのだろうけれど、自分にはそれが足りなかったようです。

無力感に苛まれたり、ばかに気楽になってみたり、写真っておもしろとか今更思ったり、落ち着きのない彭山滞在でした。

自分のことばかり書いてしまいましたね。今回はこれで勘弁してください。

明後日からハルビンの北にある、興隆鎮という街に行ってきます。

カテゴリ:

post by 野尻 浩行 | 日時: 2010.09.04 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)